

目 次

巻頭写真

『菟原Ⅲ』 発刊にあたって

巻頭コラム

古稀までの考古学、古稀からの考古学 1
—インタビューから垣間みる森岡秀人さんの最近の日常—

献呈論文

古墳時代中期の馬具保有古墳についての一考察 尼子奈美枝 11

弥生時代の播磨における居住形態 荒木 幸治 19
—竪穴建物変遷の小地域分析—

近江の石造宝篋印塔の変遷における鏡神社塔の位置について 上垣 幸徳 39

近畿地方における小形仿製鏡の系譜に関する一考察 上田 裕人 49
—和泉市惣ヶ池遺跡鏡を中心に—

三雲城の滋賀県史跡指定の経過について 氏丸 隆弘 63

古墳時代の家族形態と親族構造について 太田 宏明 67
—集落遺跡・群集墳・首長墓系譜の分析から—

—石五輪塔の製作法～徳島市丈六寺所在未成品を巡って～ 海邊 博史 75

掖上罐子塚古墳の墳丘 木許 守 83

ウィリアム・ゴーランドの滋賀県来訪記録に関する覚書 田井中洋介 93
—近江の考古学黎明期異聞—

『伊勢物語』と芦屋市の「みやび」 竹村 忠洋 105
—古代の摂津国菟原郡芦屋郷からつながる「芦屋」のイメージ—

瀬戸内島嶼部の砂質海岸で検出された中世の埋没塩田面の遺跡 辻 康男 123
形成過程—愛媛県弓削島の高浜八幡神社境内発掘地での地形学・土壌微細形態学による検討から—

芦屋市金津山古墳の墳丘盛土 土井 和幸 141

堺出土の官窯系朝鮮白磁 永井 正浩 155

滋賀県における凸帯文土器の炭素 14 年代について 中村 健二 165

湖北の説話を考える③ 西原 雄大 171

展望 山陰弥生墓研究上の課題	西村 葵	189
泉佐野における南北朝時代の城郭－檜井城と土丸・雨山城－	西村 歩	201
兵庫県東南部における弥生時代中期サヌカイトの供給状況	禰宜田佳男	221
八十塚古墳群岩ヶ平支群出土の武器と馬具 －八十塚古墳群は、武器・武具の少ない古墳群といえるのか－	白谷 朋世・西岡 崇代	231
摂津市光蓮寺所蔵の弥生時代前期の広口壺について	濱野 俊一	251
弥生時代木棺の小口板の木取りについて －神戸市北青木遺跡の事例を起点にして－	福永 伸哉	263
埴列建物研究	藤本 史子	275
画文帯神獣鏡 2 例について	村川 義典	295
出土遺物から見た城館遺構論	山上 雅弘	301
火葬の導入をめぐる憶測－ 2 つの書評に答えて－	渡邊 邦雄	319
滑石製模造品祭祀の初源	渡辺 昇	333
執筆紹介		340
森岡秀人さん略年譜		341
森岡秀人さん主要著作目録（還暦以降）		345

